

地方創生推進交付金事業（令和3年度実施分） 事業効果検証シート

事業名称	ひたちなか大洗リゾート構想推進事業		事業期間	令和2年4月～令和5年3月
令和3年度 ひたちなか市 負担事業費 (うち交付金)	5,489千円 (2,731千円)	内 訳	(1) コンテンツ強化事業(「食」コンテンツ開発・PR)	3,331千円
			(2) PR戦略事業(モニターツアー配信, 広告配信等)	2,133千円
			(3) 事務費(アドバイザー報酬費, 会場使用料等)	25千円

事業に設定 したKPI	重要業績評価指標(KPI)	開始前 (R1)	目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成率
	① ひたちなか大洗地域の観光入込客数(千人)		8,440	8,650	5,842
② ひたちなか大洗地域の観光消費額(百万円)		35,003	38,026	23,611	62.1%

総合戦略にお ける位置づけ	基本方針	1. 産業の活性化と雇用の創出	関連KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均訪問地点数</li> <li>1人当たりの観光消費額</li> <li>来訪者の満足度</li> <li>年間観光入込客数</li> </ul>
		2. つながりを築き, 新しい人の流れをつくる		

事業効果の 検証・分析	<p>&lt;①のKPIについて&gt;                  コロナ禍により低下した観光需要を回復させるため, 状況を適切に見極めながら, 各種プロモーションを展開しました。具体的には, 本協議会の公式Instagramアカウントを開設し, 大洗町と連携した運用を開始しました。また, 本協議会のメインターゲットである20代・30代の女性層に対し影響力のあるインフルエンサー2人を招聘し, それぞれ日帰り及び1泊2日のモニターツアーを配信しました。さらには, 大手広告サイトである「じゃらんnet」に特設ページを開設して, 当該モニターツアーのコースを掲載し, SNSと連動した情報発信を行いました。令和4年3月1日時点において, ページ閲覧者数が41万人を超えるなど, 多くの方々に情報を届けることができました。コロナ禍で, 2市町の主要観光施設が休園・休館となったほか, 夏の海水浴の途中閉鎖や, 各種お祭り・花火大会等の大規模イベントが中止となった影響により, 目標を達成することができませんでしたが, 当地域への訪問・宿泊意欲の向上に一定の寄与ができたものと考えております。</p>			
	<p>&lt;②のKPIについて&gt;                  観光需要の回復が遅れることを想定し, 来ていただいた方の観光消費額を増加させることを目的として, 2市町の地域食材を活用した, 新たなご当地グルメを開発しました。「ほしいも」, 「しらす」, 「蒸しタコ」を活用し, 「たことしらすのガパオライス」, 「しらすのバーニャカウダ」, 「ほしいもシェイク」, 「ご当地カップパン(ほしいもカップパン・しらすち〜ずカップパン)」を開発しました。都内のレストランで3週間程度提供した後, 地元事業者向けのセミナーを開催し, 昨年度末時点において, 本市3店舗, 大洗町4店舗での取扱が決定しております。コロナ禍で観光客が大きく減少したことに加え, 感染拡大防止の観点から, 目的地のみを訪問する, 直行直帰の旅行スタイルが主流となったことなども影響し, 目標を達成することはできませんでしたが, 今年度以降の滞在時間の延長・観光消費機会の創出に一定の寄与ができたものと考えております。</p> <p>&lt;総合戦略のKPI達成に向けた本事業の評価&gt;                  令和3年度は, コロナ禍の影響を踏まえながら, 各種情報発信事業及び地域食材を活用したご当地グルメの開発事業等を実施しました。コロナ禍の影響が大きく, 短期的な成果を出すことはできませんでしたが, コロナ収束後に繋がる取り組みであったと考えております。</p>			

検証・分析 の結果	A	本事業は地方創生に非常に効果的であった
	ⓑ	本事業は地方創生に効果があった
	C	本事業は地方創生に効果がなかった

検証・分析 を踏まえた 今後の方針 (案)	1	事業が効果的であったことから, 取組を追加するなど更に発展させる
	ⓐ	事業内容の見直し(改善)を行う
	3	特に見直しをせず, 事業を継続する
	4	事業継続を予定していたが, 実施を中止した
	5	当初予定どおり事業を終了した

方針(案)の 理由・内容	コロナ禍の収束を見据えながら, 一体的な観光地としてのイメージの定着を図り, 観光客の誘客及び周遊を促進することを目的として, 引き続き情報発信事業を実施して参ります。また, 滞在時間の延長や観光消費額の増加に繋げるために, ご当地グルメの普及を図るとともに, 食以外の新たなアクティビティの開発に向けた支援を実施して参ります。
-----------------	--

【判定】 事業の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に有効であった <input type="checkbox"/> 地方創生に有効とは言えない
---------------	--

地方創生推進交付金事業(令和3年度実施分) 事業効果検証シート

事業名称	「ウェルカム! こだわりさん。」 ひたちなか市移住・定住促進事業		事業期間	令和3年4月～令和6年3月
令和3年度 ひたちなか市 負担事業費 (うち交付金)	12,078千円 (6,039千円)	内訳	(1) マーケティング推進事業	9,795千円
			(2) 移住・定住促進事業	2,283千円

事業に設定 したKPI	重要業績評価指標(KPI)		開始前 (R2)	目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成率
	①	移住世帯数(世帯)	0	374	360	96.3%
	②	お試し移住体験者数(人)	0	27	7	25.9%
	③	首都圏在住者の ひたちなか市の認知度(%)	21	21.5	22.7	105.6%
	④	本市に誇りや愛着(シビックプライド)を 感じる市民の割合(%)	63.8	64.3	58.5	91.0%

総合戦略にお ける位置づけ	基本方針	つながりを築き、新しい人の流れをつくる	関連KPI	・転出超過の解消 ・0～9歳児の転出超過の解消 ・20歳代女性の転出超過の解消
------------------	------	---------------------	-------	---

事業効果の 検証・分析	<①のKPIについて> 本数値は、本市が実施している下記の補助事業等を利用した転入世帯により計上しています。			
	事業名		目標値	実績値
	▶子育て世代・三世帯同居住宅取得支援補助金		40	40
	▶結婚新生活支援補助金 ※国・県補助		20	17
	▶わくわく茨城生活実現補助金 ※国・県補助あり		4	2
▶子育て世帯移住促進事業		310	301	
計		374	360	-14
コロナ禍により、転入者数が全体的に減少しており、目標値より微減となりましたが、おおむね順調に事業が進んでいるものと考えています。				
<②のKPIについて> 目標値については、27人(3人家族×3世帯×3回実施)としていましたが、宿泊場所であるゲストハウスでの新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密を避けるため1回につき1世帯の募集として実施したため、目標値を下回りました。				
<③、④のKPIについて> 首都圏に向けては、令和3年度からプロモーションを実施したことに加え、コロナ禍において在宅時間が長くなったことから、テレビなどのメディア等で本市に触れる機会が増えたことから認知度が向上したものと想定されます。一方、本市の調査では「シビックプライド」と「地域との関わり」は正の相関性がみられますが、コロナ禍により地域での関わりが減少していることなどから、シビックプライドの数値が下降しているものと考えています。				
<総合戦略のKPI達成に向けた本事業の評価> コロナ禍において地方移住等の機運が高まっているといわれるなか、積極的な移住・定住促進施策を実施しました。人口減少対策については、短期的な成果を上げることが難しいため、しっかりと効果を評価・検証し、また人口推移等を注視しながら事業を進めていく必要があります。				

検証・分析 の結果	A	本事業は地方創生に非常に効果的であった
	<b>B</b>	本事業は地方創生に効果があった
	C	本事業は地方創生に効果がなかった

検証・分析 を踏まえた 今後の方針 (案)	1	事業が効果的であったことから、取組を追加するなど更に発展させる
	<b>2</b>	事業内容の見直し(改善)を行う
	3	特に見直しをせず、事業を継続する
	4	事業継続を予定していたが、実施を中止した
	5	当初予定どおり事業を終了した

方針(案)の 理由・内容	本市の暮らしやすさ等を市内外に伝えるため、引き続き、魅力の発信に取り組んでいきます。 また、転出した学生等の参加者が、市内で課題解決フィールドワーク等を実施し、Uターン就職等に結びつける事業や、ひたちなか市のファンが集う場の創設など、人との「つながり」を重視する事業に新たに取り組んでまいります。
-----------------	---

【判定】 事業の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に有効であった <input type="checkbox"/> 地方創生に有効とは言えない
---------------	--

地方創生推進交付金事業(令和3年度実施分) 事業効果検証シート

事業名称	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業		事業期間	令和3年4月～令和6年3月
令和3年度 ひたちなか市 負担事業費 (うち交付金)	1,626千円 (813千円)	内 訳	(1) 情報発信事業(サイクルマップ・動画の制作)	1,028千円
			(2) ハード整備事業(フォトスポット整備)	398千円
			(3) 負担金 (大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会負担金)	200千円

事業に設定 したKPI	重要業績評価指標(KPI)		開始前 (R2)	目標値 (R3)	実績値 (R3)※見込	達成率
	①	サイクリスト宿泊者数(人)	0	150	360	240.0%
	②	サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数(回)	0	3	3	100.0%
	③	移住・定住向けサイクリングツアー参加者数(人)	0	10	9	90.0%

総合戦略にお ける位置づけ	基本方針	1. 産業の活性化と雇用の創出	関連KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均訪問地点数</li> <li>・1人当たりの観光消費額</li> <li>・来訪者の満足度</li> <li>・年間観光入込客数</li> </ul>
		2. つながりを築き、新しい人の流れをつくる		

事業効果の 検証・分析	<p>本事業は、茨城県が令和2年2月に策定した「いばらきサイクルツーリズム構想」に基づき、「つくば・霞ヶ浦りんりんルート」を核に、本市を含む「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」を含め、4つのモデルルートを設定し、県内各地域の特色を最大限に活かし、互いに連携しながら、全国的にサイクルツーリズムを推進し、「サイクリング王国いばらき」を目指そうとするものです。</p> <p>本市におきましては、県央地域を縦断する「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」の沿線7市町村や企業・団体とともに、「大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会」を設立し、昨年度より事業に着手しております。協議会事業としては、広域での誘客及び域内回遊の促進を目的として、サイクリングマップの制作や適所へのサイクルラックの配置等を行いました。市独自の取組としては、サイクリングマップや動画を制作したほか、本市を代表するサイクルイベントである「サイクリングDEひたちなか」とのコラボレーション企画として、サイクル系インフルエンサーを活用した情報発信を行い、サイクリングの魅力発信や、市内におけるサイクルツーリズムの気運醸成を図りました。また、サイクリストの立ち寄りを促すとともに、拡散を誘発することを目的として、ルート沿線にフォトスポットを整備しました。</p> <p>事業全体のKPIとしては、ほぼ目標通りの効果を達成できましたが、「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」沿線地域へのサイクリストの宿泊者数は50名、うち市内宿泊施設への宿泊者数は10名となっており、教育旅行の誘致回数や移住・定住向けサイクリングツアー参加者数は実績値無しとなっております。本市や「大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会」における取組の効果はまだ物足りないものと考えておりますが、自転車を活用した地域活性化に向けて、サイクリングの魅力発信や、市内におけるサイクルツーリズムの気運醸成に一定の寄与ができたものと考えております。</p> <p>&lt;総合戦略のKPI達成に向けた本事業の評価&gt;</p> <p>令和3年度は、広域連携での取組と並行し、市独自の取組として、サイクリングの魅力発信や市内におけるサイクルツーリズムの気運醸成を目的として、情報発信事業及びフォトスポット整備事業を行いました。短期的な成果を出すことはできませんでしたが、今後につながる取り組みであったと考えております。</p>			
----------------	--	--	--	--

検証・分析 の結果	A	本事業は地方創生に非常に効果的であった
	<b>B</b>	本事業は地方創生に効果があった
	C	本事業は地方創生に効果がなかった

検証・分析 を踏まえた 今後の方針 (案)	1	事業が効果的であったことから、取組を追加するなど更に発展させる
	<b>2</b>	事業内容の見直し(改善)を行う
	3	特に見直しをせず、事業を継続する
	4	事業継続を予定していたが、実施を中止した
	5	当初予定どおり事業を終了した

方針(案)の 理由・内容	<p>昨年度制作した動画を活用し、有料広告配信を行うなど、引き続き、サイクリングの魅力発信や、市内におけるサイクルツーリズムの気運醸成を図るとともに、協議会を活用した広域でのプロモーションを行うことで、サイクルツーリズムを推進し、地域振興に繋げて参ります。</p>
-----------------	--

【判定】 事業の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に有効であった <input type="checkbox"/> 地方創生に有効とは言えない
---------------	--